

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 南薬院

目標達成計画書

作成日: 平成 27 年 8 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	14	馴染みの人や場との関係継続の支援	利用者の重度化と友人、知人の高齢化で、面会の回数は少なくなっているが、職員は、利用者の日常生活の中から、利用者の行きたい所や会いたい人を聞き取り、会いに行ったり、面会に来ていただくようお願いして、利用者の馴染みの関係継続が途切れないようにしていく。	利用者の友人、知人の面会時には、ゆっくり話せる場所やお茶、お菓子を提供し、また来ていただくようお願いし、家族と協力して、利用者の生きる力に繋がる、馴染みの関係継続の支援を行っていく。	12ヶ月
2		医療連携体制の確立を目指す	現在利用者の看取りを希望する家族がおられるので、職員の介護力と意識を高め、利用者の重度化の支援に対応できるように取り組んでいく。また、医療連携加算体制の確立を目指し、医療の充実を図っていく。	利用者の24時間の医療連携を築き、利用者が重度化しても、ホームでいつまでも終末期の支援が出来るように協力関係を築いていく。また、訪問看護師と介護職員が協力し、利用者の健康増進に取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。